

令和4年度第2回長浜市子ども・子育て会議 会議録

日時 令和4年10月11日（火）10時～11時30分

場所 長浜市役所本庁舎 1階 多目的ホール1～3

出席者 【委員】西川委員、大橋委員、上崎委員、細江委員、
大音委員、西村委員、長委員、山岡委員、高橋委員、吉井委員、
池田委員、宮本委員（12人）

【事務局】健康福祉部長：鶴飼、次長：宮川

子育て支援課：河合課長、伊吹課長代理、狩野放課後児童クラブ運営室長、
森家庭児童相談室長代理、南部副参事、森子育て支援係長
幼児課：中島管理監兼課長、奥村参事、磯貝課長代理

欠席者 3名（北村委員、狩野委員、白川委員）

傍聴者 なし

≪開会≫

【事務局】

これより令和4年度第2回長浜市子ども・子育て会議を始めさせていただきます。本
日皆様には何かとご多用の中、本会議にご出席いただき誠にありがとうございます。

申し遅れましたが、私、子育て支援課の課長の河合と申します。よろしくお願いたし
ます。最初に、本会議は長浜市子ども・子育て会議規則第4条第3項におきまして、委員
の過半数が出席しなければ会議を開くことができないとされております。

本日会議の委員全12名のご出席をいただいておりますので、会議が成立していますこ
とをご報告申しあげます。また本会議は、附属機関の会議の公開等に関する要綱に基づき
まして公開となっており、本日の傍聴者は0名です。

開会にあたりまして、長浜市健康福祉部長鶴飼よりご挨拶を申しあげます。

≪開会あいさつ≫

～長浜市健康福祉部長より、開会のあいさつ～

【事務局】

議事に入ります前に、まず本日の資料の確認をさせていただきたいと思います。

～資料確認～

それでは、規則第4条第2項につきまして、会長は会議の議長となりますので、会議の
議事の進行をお願いしております。西川会長、お世話になりますがお願いします。

【会長】

皆さんおはようございます。よろしくお願いいたします。

先ほどご挨拶にもありましたが、今日は計画の見直しを具体的にお示しいただくというところをご説明いただくというところでございます。見直してとしましても、そんな大きく変わるわけではなく数値的なものが中心かと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、議事に入ります前に前回の宿題があったと思いますが、グリーンベルトの件について、事務局はご説明をお願いいたします。

【事務局】

第1回会議のご質問について回答をさせていただきます。

グリーンベルトについて、どのように確認をしているかというご質問があったと思います。まず、グリーンベルトにつきましては、長浜市ではすこやか教育推進課が事務局になりまして、市の関係者、警察の関係者と国・県と一緒に会議や現場調査をさせていただいています。学校からこのような場所が危険だという意見が上がってきましたら、確認して順次、対応しているというようなことを聞いております。委員の皆様の中で、もしもそのような場所があるというようなことでしたら、学校を通じて声をいただけるとありがたいと思います。

キッズゾーンにつきましては、園外活動する時に危険な場所に設置するものでありますけれども、長浜市については危険な場所を園外活動の場所に設定していないということで、キッズゾーンについては設置しておりません。以上でございます。

【会長】

グリーンベルトにつきましては、学校を通じてっていうことでございます。よろしいでしょうか。また何か気づきの点ありましたらこちらで意見いただきますと、事務局で調べてたりご回答いただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

それでは議事の進行させていただきます。第2期長浜市子ども・子育て支援事業計画中間見直しについて事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

それでは本日の資料の方、資料1と資料2を続けて説明をさせていただきたいと思っております。

～事務局、資料1、2を説明～

【会長】

それでは、今のご説明でのご意見、ご質問ありましたら、お願いします。

わかればいいんですけども、25歳から44歳までの女性の就業率が平成27年で73.7%だったと思います。あと、直近2022年はまだ分からないと思うのですが、目標値80%になっていると思いますが、最新のものはわかりますでしょうか。

【事務局】

直近の就業率は把握しておりません。

【会長】

なぜお聞きしているかといいますと、やはり子どもの数が減少し、そして各事業のニーズ量等の下方修正が増えているということで、長浜市だけではなくて全国的に見えてくるので、ここでどうこうするっていうことではないのですが、やはりちょっと将来的に、これだけ保育施設が増えてきている状況をどういうふうにしていくか、また見通しもここでの話ではないのですが、やはり見通しを持っていかないと大変なことになってしまうなという、ちょっと危機感があって、就業率がどこまで上がってきているのかなあとということの一つ思ったので、質問させていただきました。

【事務局】

第2期を作成するときも、女性の就業率の把握はアンケート等でさせていただいております。次回、第3期の計画準備を来年再来年としますので、その中で就業率は調査をしていく予定としております。

【会長】

わかりました。その調査でということですね。

【事務局】

はい。

【会長】

ただ毎年それが経年変化をとっているわけではないということですね。

【事務局】

その通りです。

【会長】

承知いたしました。非常にちょっと注目すべき数字だと思うのであえて、質問をさせていただきます。

【委員】

数字の修正ということでしたので、数字のところでお聞きしたかったのですが、資料12ページ、元々の計画のところがそうだと思うんですけど、過不足の令和2年70人、令和3年5、6人と書いてありますが、これマイナスになるのかなと思っていたのですが。あと、13ページの方の令和4年度が一番下の過不足ところ「0人」と書いてありますけれど、ニーズ量と提供量の差が、多分あるのかなと思いました。確認させてください。

【会長】

事務局いかがでしょうか。マイナスになるのではないかというご指摘。

【事務局】

マイナスになるというご指摘で回答させていただきたいと思います。数字的に言いますと、おっしゃっていただいている通り、過不足のニーズというのが表記される場所であると思います。また、待機児童がゼロというところが設定を超えておりましたので、「ゼロ」という表記にさせていただいております。以上です。

【会長】

よろしいでしょうか。

【委員】

「ゼロ」ということでしょうか。ここは過不足を書くところで待機児童を書くところなのか、そのところがよくわからなかったのですが。

【事務局】

こちらの方の表記につきましては待機児童があったかなかったかっていうところで書かせていただいておりますので、「ゼロ」のままというように考えております。

【会長】

難しいですね。はい、どうぞ。

【委員】

そうしましたら表記で過不足とかおかしいのかなと思いました。ちょっとした意見ですけど、お願いします。

【事務局】

全体的な表記の仕方をもう一度、考えさせていただきまして、あと実数を入れたほうがわかりやすいということであれば、そのような形に考えさせていただきたいと思います。

【会長】

単純に計算すれば数字が出てくるところが、ゼロになっているというので、ちょっとそこあたりのご質問だと思います。ありがとうございます。工夫していただけるっていうことでございますので、よろしいでしょうか。

それぞれの立場で数値的なものを見ていただいているということですが、

私の方からも 15 ページの地域子育て支援拠点事業について。コロナの影響でということとはよくわかるのですが、実数も約半減なのでは、かなり制限をされている。数値的にもっと半数に近いところまで下方修正されているので、この数値の信憑性というか、やはりこれからもう少し増えるような、これは何の根拠もないのですが、増えていくような気がするのです。

もちろん、令和 2 年から 3 年度の増加率を乗じた下方修正もよくわかるのですが、一番コロナの状況が悪い時で、かといって数値がこうだからこれ以上は絶対無理だということでもないと思うのですが、もう少しちょっと数値的にかなり衝撃というかそういうものが感じられますので、どうでしょうか。そういう事業に関わっておられる委員さんがおられると思うのですが、そのあたりちょっと数値的にどうですか。

【委員】

実際にサンサンランドに行かせていただいているのですが、やはりお母さん方、待っていらっしゃる。緩和されているとやはりなんていうのですか、遊びに行きたいというお母さん方いらっしゃいますし、ちょっと受入人数が増えたよ、大丈夫ですよっていう形であれば、事業をしてもすぐ埋まってしまう状況なので、私もこれ見させていただいたときに今ニュース、メディア等でも緩和されているような状況ですので、お母さん方、親子さん、待ってらっしゃると思いますので、ちょっとこの数字がどうなのかと思っております。状況次第によってはやはりこのようにしていかないといけないとは思いますが、どのような状況でこの数字を出されたのかなと、私もちょっと思いましたので、先生と同じです。

【会長】

わかるのですが、その数値的な結果的なものが出ている 2 年から 3 年の数字での下方修正というのはわかるのですが、何かこう数値見ると、かなりこの地域子育て支援事業が縮小しているという印象がかなり出ちゃうので、もっとこう、どうしたらいいのか分からないのですが、数値的にはこのように出るのわかるのですが、事務局も

答えにくいと思うのですが、いかがでしょうか。若干もう少し増やせたらっていうようなことだと思うのですけれども。

【事務局】

確かに将来的なコロナの状況が分からない中、同じような令和2年から3年の実績で推計していましたが、もう少し緩和ができるような形で、人数の方をもっと増やした形で修正を検討したいと思います。

【会長】

数値的にどういう計算式を持ったらいいのか難しいと思います。本当に。すごく難しいのですけれど、支援事業として半減に近い形ですっていったっちゃうという、子育て支援事業なのに、というのがありましたので、ご検討いただければと思います。

【委員】

一つだけ教えてください。保育事業の8ページの「0歳児」のところは「0歳児」のお母さんが職場復帰されて、子どもを預けられる数が下方修正されるというようなことでよろしいのでしょうか。

【会長】

事務局お願いします。

【事務局】

下方修正させていただきましたのは、資料1でもご説明させていただいたように出生率が減ってきているというようなところを加味してということなんです。一方で保育園への入園希望者は依然横ばい以上になっておりますので、出生率が下がっておりますがニーズは増えているところを加味しながら、数字の修正をさせていただいております。

【委員】

ありがとうございます。私たちの会社も1年で育児休業復帰してきて、「0歳児」で預けることが多いのですけれども、以前のときにもお伝えしたように、4月入園じゃないと入園できないというような事情があるので、やむなく6か月、7ヶ月で預けるということもあるのですが、もちろん人口減少とかいろいろなものがあって、先ほど女性の就業率の方を見ていくということをおっしゃられたのですけれども、働くお母さんがどのタイミングでお子さん預けられるかっていうようなところも何かちょっと意見として拾っていただけないのかなと、例えば母子手帳をもらいに来られた時にアンケートを聞いてみるとか、なんか少し行動していただくと「絶対4月入園じゃないと」というところが少し解消されるのかなというふうに思います。お願いします。

【会長】

貴重なご意見ありがとうございます。実際的なところご意見をいただいていると思います。事務局いかがでしょうか。

【事務局】

やはり4月にたくさんのお入園希望者がおられるので、それに応じた入園の手続きをさせていただいているのが実情です。特に4月入所以降の途中入所については、なかなか難しい状況が続いているところです。

公立については、少しでも枠が確保できるように設定させてもらっているのですが、必要数を確保できていない部分もありますので、途中入園の枠の確保をどのように算定していくかというのは、今ご意見いただきましたように、いろんなところから情報を集めさせていただいて検討していきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

【会長】

実際的なところでのご意見ありがとうございました。はい。では他いかがでしょうか。

【委員】

幼稚園で預かり保育をさせていただいている園の立場としましては、いろいろと子どもの数の減少で下方修正が多い項目なのですけれども、預かり児童についての情報をお伝えさせていただきます。現場では、フルタイムで働くことはできなくて、3時、4時までの仕事の方は、なかなか保育所に入れないので、幼稚園の方で預かりを希望される方が、本当に増えていると感じています。

コロナやいろいろなことで、なかなか数値の見直しが難しいと思っておりますが、また増えていくという覚悟を現場の方で持ちたいと思っております。

事務局の方でも要件につきましては、毎年少しずつ見直しをしていただいで、より良い利用ができるようにしていただいておりますのではないかとと思っております。今後ともよろしくお願いたします。

【会長】

「働く」そういう実情から、決して減ってはいかないであろうと、充実したという声がございます。特に事務局から意見はございませんか。

【事務局】

現場の声を今、言っていただきましたので特にはありませんが、実際の計画よりもかなり多くの園児を現場の方で受け入れていただいております。そういう意味では、現場にはかなりの負荷がかかっているなというのは、幼児課としても感じておるところです。何と

か保護者のニーズに応えられるように園の方とも調整していきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

【会長】

なかなか数値では表せられないところございました。その現場の実情というものを
ご意見いただきましてありがとうございます。では他に。はい。どうぞ。

【委員】

私も一時預かり事業について。私達は働きたいというお母さんたちと関わる事がとても多くて、本当にこの1年で少しでもいいから働きたいというお母さんたちが増えてきました。いきなり正社員というのは難しいのですが、さっき先生がおっしゃったように3時とか、それぐらいまででも、最初の一步として働きたいという人が、本当にたくさん増えました。

先日10月の保育の申請に向けて、9月に合同企業説明会を開催したのですが、そこでもとてもたくさんの方が参加してくださって、今年の場合パートの方が多かったのですが、そういう方たちもきっとこれからたくさん使っていくと思いますので、人数が増えて先生方とか本当に苦労していただいていると思うのですが、働きたいお母さんたちのためにこの数字を消してくださったのは、いいなというように思いました。

もう一つ、子育て短期支援事業14ページのところの短期入所生活援助事業です。見直しするところだったのですが、施設とは違うかもしれないですけど、このショートステイの事業について、認識がまだまだ全然できていなくて、どういう方法でして、どういう条件を満たした方たちがどういう問い合わせをして、どういう流れで使っているのかというのも、概要を少しだけ教えていただけたらなと思ひまして。

【会長】

周知の仕方でございますね。いかがでしょうか。

【事務局】

周知というのは広くはさせてもらってないのですが、こちらについては保護者の方が疾病等で一時的に養育を行うことができないご家庭である場合に、相談を受けさせていただきます。身内や他でどうにもならない場合、どうしようということで窓口等に相談に来られた時にご案内しています。

【会長】

ご相談される窓口はいろいろあると思いますが、そこから個々に繋がっていくということでございますね。

【事務局】

はい。そうです。

【会長】

他いかがでしょうか。

【委員】

放課後児童健全育成事業のところですけども、中間見直しでは下方修正ということになっているのですが、中間年における今後の方向性のところですね、引き続き民間クラブ等の参入を推進しますということですけども、これは少し逆を感じているんですが、どのようなことで数値的には減っているけれども、場所を増やそうとされているかというところをご回答お願いします。

【会長】

数値的なところと新規参入にかかわっての関係についていかがですか。

【事務局】

民間クラブといいましても、大きな事業所の中で40数名ぐらいの定員を受けていただく委託という形でお願いしている事業所もありますし、10名程度ぐらいの小規模な形でもお願いするところも民間クラブとしてはございます。

利用人数につきましては、大方このぐらいの推移なのかなというところで見込みをさせていただいておりますが、公設クラブはかなり定員がいっぱいの状況の中で、民間クラブさんの方に分散化できるかなというところでの考えがございます。そういったところでの表記の仕方というふうに捉えていただければ幸いです。

【会長】

非常にゆったりと過ごせるようにと考えておられるということでございます。

【委員】

見直しとか、そういったものと直に関係しないのですが、転入転出ですね。4ページのそういった資料を出しただいて良かったなと思っています。米原市と高島市は転入が多いですね。長浜市は少ない。

米原市は何年か前から高校生までの医療費無料といった政策で、若い世帯の方が米原市に転入していくというような話も聞いたのですね。高島市は職人さんとか芸術家っていう方々に古民家を回収して、積極的に入ってきてもらうという政策の中で、多分、転入が増えたと思うのですね。岡山県の山村の奈義町という町があるのですが、小さな町があって出生率が2.95。これには先ほど説明のあった子育て世帯の相談が気楽に行ける場

所とかね、交流できる場所とか、そういったものを実施して、15年かけて出生率2.95倍にしてきたと。子どもあるいは高齢者、両方の世代に繋がっているわけなのですが、やはりそういったところを研修というか、行っていただけたら。出生率を上げない限りね、将来の長浜市っていうのがね、どんどん衰退していくってこともありますよね。

これと関連してもう一つは、世帯数の水位がどんどん上がっているわけですね。旧長浜とか高月に分譲住宅がいろいろできて上がっているわけですね。核世帯が増えており、親と一緒に住まないから空き家がどんどん増えているわけです。

市全体としては数値が出てないのでわからないのですが、事業所系を除いた住宅系の固定資産税は、多分上がっていると思いますね。住宅開発されているんですね。そういった中で将来、難しいこととは思いますが、家族と親と同居するとか、同一敷地内で親と近いところに住むとかね。将来的に何か支援策を設けたらいいのではないのかと勝手に思っていますけどね。

それと、前回の会議で会長から意見のあったヤングケアラー。大阪の方で調査がありましたよね。小学5、6年生の対象に全ての調査をかけて、2割程度ヤングケアラーという親とか兄弟の世話をしているっていうのをニュースでやっていますけど。その辺のところもこれから総合的に考えていく必要があるかなって思って発言しました。

【会長】

3点ほどのご意見を賜っておりますけれども、今後の検討事項でということでございますけれども、今の段階では事務局、何かありますでしょうか。

【事務局】

今、委員さんからいただいたご意見というのは長浜市として、人口減少対策、少子化対策をしっかりとやっていかないといけない喫緊の課題と認識をしております。

プロジェクト的に今までやってきたことの見直しも含めて、幅広く、いろんなことをやってきているのですが、実際出生率の増加につながっていないので、見直しが必要だと考えております。

今ほどおっしゃっていただいたような状況ですとか、近況、確かに人口が増えている市町は、政策としてやっておられるような情報も得ておりますので、市として総合的に全課あげて取り組んでいく必要があるのかなと考えております。政策デザイン課と一緒に、広い視点で議論し、全庁的に取り組んでいくことになるかなというふうに考えております。答えになってないかと思うのですが、このような状況です。

【会長】

一つの課だけが解決できる問題ではないので、これをきっかけにいろいろと横断的にお話ができればなっていうことであります。ありがとうございました。

【委員】

5 ページのところなのですが、中間年における今後の方向性というところで、待機児童解消に向けてっていうところでは、今のところではほとんどないということかなって思うのですが。

あるとすれば「ゼロ・1・2歳」で、「3・4・5歳」は減少しているから待機児童はないと思うのですが、「ゼロ・1・2歳」も今のところは、そんなに待機児童がないっていう中で、今後も民間保育所等への参入を推進していくのでしょうか。

今後の人口減少を見ても施設を建てていなくても大丈夫かと思うのですが。私たちの素人感覚ですけど、これはどういうふうに思われているのか聞きしたいと思います。

待機児童の解消は大体できているし、人口はどんどん減って行くのに、建物をこれからまだまだ設立をしていくのかお聞きしたいと思います。

【会長】

現状ではまだまだですけども、これから先を見ると、近いうちにそのような現状が見えておりますので、難しいところではありますが、いかがでしょうか。

【事務局】

先ほどの放課後児童クラブからの回答と同様に待機児童が発生している地域は、旧長浜エリアになっておりまして、公立園についてはかなり過密状態になっております。

例えば、北保育園や六荘認定こども園については、相当な過密状況になっておりますので、民間園さんが入っていただくことで、もう少しゆとりのある保育ができるようにというようにことと、本来は保育所に入っていただきたい、入りたいというニーズを幼稚園の方でカバーしているというような部分もありますので、そういった意味ではまだまだ保育所のニーズが充足していない状況です。たくさん建てる必要はないとは思いますが、若干数は増えてもいいのではないかと考えております。

【会長】

ゆとりを持ってということと、考えておられるということとでございます。

さて、かなり時間が来ておりますので、他にご意見等よろしいでしょうか。それでは、事務局の今後のスケジュールを教えてくださいませんか。

【事務局】

今日ご意見いただきましたところの修正等を踏まえまして、市議会の方にも報告をさせていただきます。それと、1月にパブリックコメント、一般市民の方に対する意見照会です。こちらの方も実施させていただきます。

2月にパブリックコメントの結果の方を第3回の会議で報告をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

【会長】

パブコメを経て、もう一度その意見での中間見直しが出てくるということでございます。よろしいでしょうか。はい。どうぞ。

【事務局】

先ほど放課後児童クラブの過不足分の表記のことですけれども、幼稚園・保育園の過不足の表記もあわせて整理をさせていただきたいと思います。

【会長】

そこは整理していただくということでよろしく願いいたします。はい。それでは協議事項は以上で終わらせていただきます。

あとは報告事項が2点ございますので、よろしく願いします。

それではまず一つ目、新たな子育て支援センター（民間）の設置について事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

～新たな子育て支援センター（民間）の設置について事務局から説明～

【会長】

ありがとうございました。ご説明に関して、ご意見ご質問ありますでしょうか。長年の経験を経て、開設していただくというところでございます。よろしいでしょうか。

それでは次の報告事項です。

長浜市子育て世帯応援給付金について、説明をお願いいたします。

【事務局】

～長浜市子育て世帯応援給付金について事務局から説明～

【会長】

何かご意見ご質問ありますでしょうか。スピード感をもってやっていただいているという印象でございます。

よろしいでしょうか。ありがとうございました。

協議事項1件、それから報告事項2件、何か全体を通してご意見ご質問よろしいでしょうか。

それでは、ないようですので、長時間にわたりましてご意見ありがとうございました。それでは進行を事務局の方にお返しいたします。

【事務局】

西川会長ありがとうございました。委員の皆様におきましても慎重審議ありがとうございました。閉会にあたりまして、健康福祉部次長の宮川より一言お礼を申し上げます。

【事務局】

～長浜市健康福祉部次長、閉会のあいさつ～

【事務局】

次回は2月ごろに開催をしたいと考えております。後日ご案内をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

それでは令和4年度第2回子ども・子育て会議を閉会させていただきます。ありがとうございました。

皆様、長時間ありがとうございました。気を付けてお帰りください。

≪閉会≫